

## 令和元年度 第3回学校運営協議会 記録 (概要)

- 1 開催日時 : 令和2年2月25日 (火) 15:30~17:00
- 2 開催場所 : 池田高等学校 校長室
- 3 運営協議会メンバー :

### ①運営協議会委員 (委嘱委員)

(会長)	桑畑 進	(学識経験者) 大阪大学教授	㊦
(副会長)	萬川 幹夫	(学校の運営に資する活動を行う者) 同窓会会長	
	阪 晃一	(地域住民) 池田市立石橋中学校長	
	太田 高正	(地域住民) 旭丘自治会	
	鍋島 浩	(学校の運営に資する活動を行う者) 後援会会長	
	窪田 稔	(保護者) 平成31年度PTA会長	

### ②事務局員 (校内出席者)

校長	若林 智子	事務長	中井 長朗
教頭 (事務局長)	津田 佳弘	首席	深工 泰彦 ㊦

※記録 : 教頭

## 4 内容 :

教頭の司会により学校運営協議会開催

- (1) 配付資料説明
- (2) 校長挨拶
- (3) 協議 \*萬川副会長を議長として協議おこなう
- (4) 保護者等からの意見 - ナシ / その他

## 5 協議事項 :

### 1) 学校経営計画 平成31年度評価 (案) について

▼校長より「学校教育自己診断結果分析」等、評価指標と照らし合わせた達成状況及び評価 (案) についての説明をおこなった

- ・学校教育自己診断の肯定率を評価指標としている項目が多いが、概ね上昇できており成果があった、と言える
- ・授業アンケートにおいて、自学自習を図る項目である「生徒取組1」のポイントが年々上昇しているのは、本時の目標と振り返り」の実践をポイントにしたことも影響していると考えている
- ・2年生から大学入試が新入試となることを踏まえ、情報がなかなか現場においてこない状況にあっても丁寧でタイムリーな情報提供に努めたつもりであったが、結果として新たな制度が中止になったことを受け、不満要因になったと言える (委員より) 概ね了承された

## 2) 学校経営計画 令和2年度計画(案)について

■座長より、校長作成の平成31年度との変更点を説明した後、平成31年度評価(案)についても言及する部分が出てきたら同時に協議したい、と進行についての説明アリ

▼校長より、変更点を中心に説明をおこなった

- ・めざす学校像 — 創立80周年を意識した修正  
(H31) 自主・自律・貢献の精神を涵養し・・・  
(R2) 池高の伝統である「自主・自律」が実践でき・・・
- ・中期的目標 1 「授業で勝負」 — (1)の項目  
(H31) 池高型アクティブ・ラーニングを推進し、目標と振り返りのある授業を展開  
(R2) 池高型アクティブ・ラーニングを継続し、「主体的、対話的で深い学び」に繋がる《本日の目標と振り返りのある授業》を展開
- ・多少の字句修正をおこなったことも、資料(主な変更箇所)により説明

### ▽意見交換

(校長) 特に不満の多い施設面において、来年度夏に、教室のエアコンが更新されることに期待したい

(委員) 災害対策とはどうなっているのか

(校長) 今年度には、災害時用の備蓄品として、生徒全員に水(500ml×4)、アルファ一米、クッキーを学年費より支出をして準備し、卒業式予行時に返却をした

(委員) 非常に安心した

(校長) ブロック塀改修が行われ、全てがメッシュフェンスに変更された

(委員) 外から中が見えて良いが、砂ぼこりで近隣に迷惑をかけるのではないかと懸念もある — ネットを張るなどの対策は準備できている

(委員) 生徒も外から見られている意識を持つことで、考えることがあるかもしれない

(委員) 評価指標が肯定率を基にしていることは仕方がないと思うが、生徒の中には、いろいろな面で挫折をし、それを乗り越えようとする中で学ぶこともあるが、そのことを経営計画にどのように反映させていくのか、も考えていただけたらと思う

(委員) 入部率の高い池高では、クラブ活動なども重要な要素であり、先輩の努力をみて、後輩は追い付こうと頑張ることが大きいのではないかと

(委員) 部活動で「自己肯定感」育むことができることも多い

(校長) 勉強と部活動を両立しようとする気持ちが大切であると考えているが、それに結果がともなって初めて生徒たちは両立できている、と考えるようだ

(校長) 保護者も教員も同様に、生徒と一緒に落ちて込んだり、悲しんだりするが、生徒よりは少しだけ早く立ち直って、導ければよいと思っている

## 6 その他:

- ・学校運営協議会の委員は、昨年度から2年任期での委嘱であったが、是非、次年度も引き続き引き受けていただきたい、とお願いをした — 了承された